

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	women farmers japan 株式会社
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	法人役員 4 名 (うち女性 3 名)、生産組合 13 名 (うち女性 6 名)、加工所パート 6 名 (うち女性 5 名) wofalabo11 名 (うち女性 11 名) (令和 4 年 4 月時点)

1 事業実施方針

<p><b>【事業実施の背景】</b> 弊社は「里山農業を心動く世界に」をコンセプトに、さつまいもの栽培、生産組合運営、食品加工、販売、共同加工所の運営 (2022 年 7 月稼働予定)、女性農家のコミュニティ運営を行っております。 代表の福嶋恭子が 38 年前兼業農家に嫁いだ時に感じた女性農業者の課題が、同じく共同代表の佐藤可奈子が就農した 10 年前から現在も全く変わっていなかったことから、女性農業者の課題を事業を通じて解決するべくタッグを組み、2021 年にスタートしたばかりの新しい会社です。 <a href="https://wofa.jp">https://wofa.jp</a></p> <p><b>【解決したい女性農家の課題、事業の全体方針】</b> 代表の佐藤が 2018 年「農あるくらしと子育て白書」を独自で制作し、20~80 代の女性農家に聞き取りをした結果、以下のことがわかりました。</p> <p><u>1、稲作以外の収入の確保</u> 活動地域は魚沼産コシヒカリの生産地ですが、中山間地域のため農業の大規模化が難しいこと、土木作業的側面のある稲作は女性には負担が大きいこと、昨今の米価下落により稲作以外の収入の確保が必要であることが挙げられました。</p> <p><u>2、冬の仕事創出</u> 男性農家は市外のスキー場勤務や深夜含めた除雪作業などが多いが、女性には子育てとの両立を鑑みると、負担が大きい。そのため、冬の女性農家の仕事がない状態であった。</p> <p><u>3、アイデアはたくさんあるのに生かされていない</u> 地域づくりの舞台に立つチャンスがない、食品加工を実施するには投資額が大きく、挑戦のハードルが高い現状。女性農家のポテンシャルが十分に生かされていません。</p> <p><u>4、農業と子育て・家事の両立が難しい</u> こどもの病気や急な予定で勤務が不安定になりがちだからこそ、不安定さを補い合えるよう子育て期間を過ぎた女性農家も受け入れ、人数の確保をしたいが、そのためには売上の向上、加工所の整備が必要。</p> <p>これらの課題解決のため、営利事業と非営利事業の両輪で、女性農家の課題解決を実施。 営利事業では、女性でも新規参入しやすいさつまいもを選び栽培し、空き家を改修して食品加工を実施。 非営利事業では、女性農家がコミュニティの力で継続して成長し力を発揮できる仕組みとして</p>
---

「wofa labo (ウーフアラボ)」というコミュニティ運営も実施。集落を超えて十日町市・津南町の11名の女性農家が参加し、定例会や勉強会、マルシェの共同出店など行っている。wofa labo メンバーから、生産組合に参加したり、加工所勤務している女性も多数である。

しかし、営利事業に関しては、売り上げはまだ不十分で栽培数に制限を設けてあり、また資金不足のため空き家の改修は1F加工場のみであり、2Fは未整備のままです。

より魅力的な商品を生み出すことで、悩みを抱える女性農家をより多く受け入れられる場にしたいです。

その結果、中山間地域の女性農家が、一般企業と同程度稼ぎ、また家事も育児も両立できる仕組みで、今まで以上に女性農家が農業者としてイキイキと働ける地域を目指したいです。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制

運営責任者を佐藤可奈子が担い、事務局を佐藤友美が行う。

wofa labo に関しては社会企業家支援を行っている NPO 法人 ETIC.や、新潟県農村地域生活アドバイザー、十日町市でコミュニティデザインを行っている studio\*H5 合同会社を、アドバイザーに迎え運営。

また商品開発に関しては wofa labo に参加している女性農家 11 名で自身の農産物を利用しながら、試作・試食を繰り返し、随時マルシェやオンラインで試験販売をしながら、商品化を目指します。また wofa labo メンバーには米だけでなく、ハーブや雪下人参、枝豆など栽培しており、それぞれの農産物のよさを生かし、また各々の収入向上が叶うような商品開発を目指す。

### 【事業実施主体の能力】

共同代表の福嶋は十日町市出身の農業者であり、農家レストランを運営。農村地域生活アドバイザーの資格も所有。佐藤は、2011 年に移住・就農に農業委員会や新潟県農政審議会の委員なども歴任。2017 年には内閣府男女共同参画担当大臣賞を受賞。当事者として女性農家の課題に向き合い、また事業を通じて課題解決できる仕組みづくりを行ってきた。

また生産組合では 13 名のうち 6 名が女性、加工メンバー 6 名のうち 5 名が女性農家であり、また wofa labo には 12 名の女性農家が所属、うち半数は移住者で構成する。

そのため就農希望者や、不安を抱える女性農家を仲間として支え、協働する体制が整っており、またコミュニティから、栽培・加工に参加するなど一貫通貫した支援が可能。

### 【事業設備】

- ・加工所には干し芋加工室、共同加工所として菓子加工室、惣菜加工室を整備。
- ・子育て中の従業員が多いため子供の通院や病気などで突然の休暇が多くなってしまいがちですが、加工従業員専用の SNS グループ機能を活用し瞬時に対応でき、気兼ねなく休める環境を整えております。

・また共同加工所の運営に関しまして、菓子加工室にはパンの発酵器やスチームコンベクションオーブンといったお菓子やパンを製造するのに必要な機材がそろっています。惣菜加工室にはガスオーブンや回転釜、瞬間冷凍機といった惣菜を製造するのに必要な機材を取り揃えております。そのため、商品開発のできる土壌は整っております。

**【女性農業者グループの活動支援】**

wofa labo は十日町市が合併する前の 5 地域すべてと隣の津南町から女性農家が参加。11 名のうち移住者は 5 名。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の (1) の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者 (女性 1 名以上を含む) の氏名を記載してください。

**3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組**

**(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組**

内容	成果/目標	備考
(実施中の取り組み) 1) さつまいも生産者を増やす 2) 新潟大学農学部、新潟産業大学での授業実施	1) 女性 2 名 (2021 年度) 2) 年 2 回	
(今後の取り組み) 1) さつまいも生産者を増やす (継続) 2) 新潟大学農学部、新潟産業大学での授業実施 (継続) 3) 新規就農者、就農希望者の研修・体験受け入れ 4) 女性農業者活躍の情報発信 (Instagram、twitter、note)	1) 女性 1 名 2) 年 2 回 3) 年間 2 名 (目標) 4) 月 4 回以上	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

**(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組**

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1) 女性農業者の経営戦略ゼミの開催 (家事育児と農業経営の両立を目指し、各々のチャレンジ、実践、それに対する学びなどを共有したり販売やビジネスモデルに関する学び、情報交換を通じて経営力向上を促進した)	1) 年 2 回実施 (2021 年度)	

<p>2) 定例会の開催 コミュニティの力で成長し高め合えるよう、月1 zoom を通じて毎月掲げる目標や挑戦に対するレビューやフィードバックをしあった。</p> <p>3) 認知度アップ・販路開拓のためのマルシェ出店 十日町市内で毎月開催されるマルシェに共同出店。当団体の認知度を高めると同時に、メンバー自身は自身の商品の販売促進を行なった。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1)女性農業者の経営戦略ゼミの継続 2)定例会の開催 3)マルシェ出店 4) さつまいもや wofalabo メンバーの農産物を用いた新商品開発</p>	<p>2) 隔月実施 (2021 年度)</p> <p>3)4 回出店 (2021 年度)</p> <p>1)年 2 回実施 (目標) 2)隔月実施 (目標) 3) 6 回出店 (目標) 4)2022 年 12 月まで (目標)</p>	
---	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 共同食品加工所の建設</p> <p>2)佐藤は農業委員に選出され、2014～2019 年まで、新規就農者支援を行う。また農業委員会だよりで毎回女性農業者を表紙1面で紹介するコーナ</p>	<p>1)2021 年 11 月、空き家を改修し竣工。11 月下旬より干し芋加工で稼働。2022 年夏には共同加工所利用組合を作り、女性農家が自身の農産物で加工品の試作を自由に行い、試験販売ができる仕組みを作る。</p> <p>2) 農業委員会だより表紙で紹介してきた女性農業者のべ 11 名</p>	

<p>一の制作を現在も担当している。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1)さつまいもや wofalabo メンバーの農産物を用いた商品開発</p> <p>2)販路開拓のためのマルシェ参加、山形県で開催されるトレラインイベントでの出店</p>	<p>1)商品開発・試験販売(目標 2022年12月まで)、事業終了翌年度の商品化(目標)</p> <p>2)6回出店(目標)</p>	
--	---	--

(注) 農業委員等に出選された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容(対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

##### (2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	商品開発にあたってのマーケティング知識不足
②	稲作以外の収入源の確保の必要性

【課題解決のための補助事業(概要)】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	マーケティング指導（2回）
②	商品の新規開発に向けた試作品の開発、パッケージデザインの作成、マルシェでの試験販売の実施

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	開発商品の方向性、販売戦略を立てる。
②	さつまいも、または wofa labo のメンバーの規格外の農産物を活用した新商品を作成し、自社オンラインストアまたは山形県で開催されるトレランイベントで試験販売する。事業翌年度には単価 800～1,000 円 500 個販売、年間売上 50 万をまずは目指す。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年7～11月	試作品作りのためのマーケティング指導	謝金 210,000 円 講師旅費 33,600 円	謝金規定に基づき算出 見積番号②
②	2022年12月	対象者：グループメンバー全員 試作、開発。 試作品デザイン作成。 オンラインストアイベントでの試験販売。	消耗品費 24,934 役務費 155,000 円 出店交通費 45,448 円 出店宿泊費 39,945 円	見積番号① 見積番号④参照 見積番号③ 見積番号⑤

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	3人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	1人、雇用就農者
	0人、アルバイト・ボランティア等
	2人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。